

互いに励まし合う

比国から感謝の手紙
吉高 本響

今年2月に発生した

地震で大きな被害を受けたフィリピンネグロス島に激励のメッセージを送った本吉響高校(千田健一校長)に、同年代の被災者から感謝の手紙約100通が届いた。

フィリピンで2月6日にマグニチュード6・9の地震が発生。建物の下敷きになるなどして多くの犠牲者が出た。同じ被災地を励ますという同校生徒

が、励ましのメッセージや折り鶴を送った。

お礼の手紙は現地の同世代の人たちから届いたもので、英語で「つらい経験をしても気にしてくれる優しさ」と暖かさに感謝します」「皆さんの親切は忘れません」などつづられている。仲介役を務めたネグロス島育ちで福岡県在住のコンサルタント古川勝利さん(53)がこのほど、

同校に届けた。

同校では「被災地同士が思いやりの心でつながっていることがわかった」と語り、古川さんは「互いに励まし合う関係になれば」と話していた。

同校のほか、激励の手紙を送った津谷小学校や南三陸町の歌津、志津川中学校にも、古川さんを通じてフィリピンからの感謝のメッセージが届けられた。



フィリピンから感謝のメッセージが届いた